社会貿	本総合整備計	一 事後	評価書							令和06年03月12日
計画の名称	横浜港における高	潮・津波対策整備計	画(防災・安全)(	重点)						
計画の期間	平成30年度	~ 令和04年度	(5年間)						重点配分対象の該当	0
交付対象	横浜市									
計画の目標	横浜港におい	て、津波・高潮から	の浸水被害を防ぐたる	カ海岸保全施設の整備 <sup>:</sup>	を行い、就業者をはじめとす	る人命や財産の安全を確保す	<sup>-</sup> る。			
	海岸保全施設	の整備により、災害	時でも重要な機能を破	確保する。						
全体事業費	貴(百万円) 1	合計(A + B + C + I	D )	4,589 A	4,589 B	0 C	0 D	0 効果促進事	業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %
		_				-	-	_		
					÷⊥æ	ふの代田口挿(字具的化挿)				

	計画の成果目標(定量的指標)					
番号		定量的指標の現況値及び目標値				
	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値		
		(H30当初)	(R2末)	(R4末)		
1	大黒ふ頭地区において津波・洪水等による浸水被害を軽減させる。					
	[大黒]津波・高潮等による浸水被害の軽減面積(ha)	0ha	28ha	43ha		
2	大黒ふ頭地区において防災機能強化により、人命及び財産を保護する。					
	[大黒]浸水を防ぐことにより避難不要となる就業員数(人)	0人	177人	447人		
3	金沢地区において津波・洪水等による浸水被害を軽減させる。		T	I		
	[金沢]津波・高潮等による浸水被害の軽減面積(ha)	0ha	38ha	278ha		
4	金沢地区において防災機能強化により、人命及び財産を保護する。		T	I		
	[金沢]浸水を防ぐことにより避難不要となる就業員数(人) 	0人	2215人	22216人		
	備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -	避難確保計画の策定 ×	避難行動要支援者名簿の提供		
		'				

1

案件番号: 0000550084

		事業	地域	交付	直接	申米本	1番 Dil 4	毎回っ	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業実	施期間	(年度)	全体事業費	費用	個別施設計
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1	種別 2 	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H30 H3	R02	R03 R04	(百万円)	便益比	策定状況
		一体的に	実施する	ることによ	り期待	 される効果	1		1	1	1				1		-
		備考															
异岸事業		海岸	一般	横浜市	直接	横浜市	高潮	港湾	海岸保全施設整備事業(	設計 胸壁1,063m 陸閘4基	横浜市				875	48	-
	A09-001								大黒ふ頭地区)								
							1		1	I.	I.					l	
		 海岸	一般	横浜市	直接	横浜市	高潮	港湾	海岸保全施設整備事業(	幸浦:上部工・消波工・胸壁	横浜市				3,714	129	T -
	A09-002								金沢地区)	⊥935m							
									<u> </u>								
					Τ						小計				4,589		
											ומינו				4,505		
					T		1				合計				4 500	1	
											百計				4,589		
					<u> </u>		1	I	T		Τ				1	1	
						Г			I		T				T	1	
				_		_				_							
						1		1	L	I .						1	

1 案件番号: 0000550084

	事後	評価	
事後評価の実施体制、実施時期			
事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
評価の透明性、客観性、公正さを確保	するため、学識経験者を入れた評価を実施。	令和6年3月	
		公表の方法	
		横浜市ホームページへ掲載	_
事業効果の発現状況			
	計画的な海岸保全施設の整備により、横浜港   な温水被害を受けた今沢地区において、津波	の一大物流拠点として重要な機能。	を担う大黒ふ頭地区と令和元年の台風15号で甚大 害の軽減、人命や財産の保護に寄与した。
	な技小阪古を支げた並が地区に切りて、 洋派	・同州寺による自復地への皮外板	古の牲成、人ので別座の休暖に可可した。
定量的指標に関連する			
交付対象事業の効果の発現状況			
定量的指標以外の交付対象事業の			
効果の発現状況(必要に応じて記述)			

## 特記事項 (今後の方針等)

## (学識経験者の意見)

- ・大黒ふ頭地区の定量的指標について、最終目標値の達成はできなかったが、着実に海岸保全施設の整備は進捗しているので、引き続き、地元事業者等と調整を行い ながら事業を進めることが必要である。
- ・金沢地区は、交付金事業で幸浦地区を、災害復旧事業で福浦地区を復旧するため、分担して事業を実施したが、定量的指標の目標値を両地区を含めた海岸保全区域 全域としているため、交付金事業で示される実績値は、幸浦地区において100%目標を達成している。同時期に行われた災害復旧事業を含め、金沢地区の海岸保全区域 全域で整備は完了し、背後地への浸水、人命等の財産は守られている。
- ・災害発生から短時間でこれだけの事業量を実施し、成果をあげたことは高く評価できる。

## (今後の方針等)

- ・大黒ふ頭地区は、令和5年度から「整備計画:横浜港における高潮・津波対策整備計画(防災・安全)(重点)(その2)」にて引き続き事業を実施。
- ・金沢地区は事業完了。

<b>□</b>	漂値の達							
	<u>ボロの圧が</u> 指標(略							
番号	<u> </u>		目標値と実績値に差が出た要因					
			日標値と美績値に差が出た委囚 水被害の軽減面積(ha)					
1	最終 目標値		工事着手前の工法変更や関係機関調整のため、予定の整備延長を実施することが出来ず、実績値が目標値を下回る結果となった。そのため、 次計画に整備できなかった延長分を含めることとし、目標値達成のため、引き続き整備を進める。					
	最 終 実績値	13ha						
	[ 大黒 ]	浸水を防ぐことにより	<b>壁難不要となる就業員数(人)</b>					
2	最 終 目標値	447人	工事着手前の工法変更や関係機関調整のため、予定の整備延長を実施することが出来ず、実績値が目標値を下回る結果となった。そのため、 次計画に整備できなかった延長分を含めることとし、目標値達成のため、引き続き整備を進める。					
	最終 実績値	133人						
	[金沢]津波・高潮等による浸水被害の軽減面積 (ha)							
3	最 終 目標値	278ha	最終目標値は金沢地区の海岸保全区域全域278ha(幸浦地区81ha、福浦地区197ha)を対象としたもので、本交付金事業で示される最終実績値 は、幸浦地区において100%目標を達成している。同時期に行った災害復旧事業を含め、金沢地区の海岸保全区域全域で整備は完了し、背後地 の安全性は確保されている。					
	最 終 実績値	81ha						
	[金沢]	浸水を防ぐことにより	<b>避難不要となる就業員数(人)</b>					
4	最 終 目標値	22216人	最終目標値は金沢地区の海岸保全区域全域22,216人(幸浦地区4,762人、福浦地区17,454人)を対象としたもので、本交付金事業で示される最終実績値は、幸浦地区において100%目標を達成している。同時期に行った災害復旧事業を含め、金沢地区の海岸保全区域全域で整備は完了し、背後地の安全性は確保されている。					
	最 終 実績値	4762人						

1

案件番号:0000550084

## 参考図面

参考凶 <u>国</u>			
計画の名称	横浜港における高潮・津波対策整備計画(防災	・安全)(重点)	
計画の期間	平成30年度~令和4年度 (5年間)	交付対象	横浜市
金沢地	大黒ふ頭地区 A09-001 海岸保全施設整備事業(大黒ふ 南本牧ふ頭	頭地区) 本牧ふ頭 大黒 新本牧ふ頭	鶴見地